

● 広報

おくび



2018

3

NO. 761





～小国から声援を送る～

韓国の平昌（ピョンチャン）で行われた冬季五輪。本町横根スキー場で幼少期から練習を重ねた平野歩夢選手（新潟県村上市）が、スノーボード男子ハーフパイプに出場し、堂々の2大会連続の銀メダルを獲得。横根スキー場脇の旬菜レストランあいあい内でパブリックビューイングが行われ、町民約50人が平野選手に熱い声援を送った。“頑張れ！歩夢！”

ワカ者、ヨソ者が見た町の魅力と課題 ～地域おこし協力隊と緑のふるさと協力隊～



首都圏などから地方に移り住み、さまざまな活動を展開しながら地域に新しい風を吹かせている地域おこし協力隊と緑のふるさと協力隊。現在、4人の隊員が地域の皆さんとともに特産品開発や地域の情報発信、農林業への従事、生活支援などさまざまな活動を展開しています。今月は本町で活動する隊員に町の魅力・課題など、都市部から来た若者が見た小国町を聞きました。

地域おこし協力隊 根本 俊輔 ねもと しゅんすけ

東京都出身。24歳。
平成29年7月着任。新股在住。水源の郷交流館を拠点に活動。専門学校で映像制作を学んだ後、スポーツ中継を中心にテレビカメラマンとして活躍。昨年ふるさとCM大賞の撮影編集を担当。

地域おこし協力隊 宮崎 美穂 みやざき みほ

東京都出身。26歳。
平成28年2月着任。小国小坂町在住。アスモを拠点に活動。美術系大学出身で、グリッシーニやたかきびジェラートなどのパッケージデザイン、町内のさまざまな商品デザインを行う。

緑のふるさと協力隊 山中 那智 やまなか なち

和歌山県出身。21歳。
平成29年4月に第24期緑のふるさと協力隊として着任。舟渡在住。地元での農作業の他に、学生時代に野生動物について学び、猟師に憧れを抱いていたため、昨年狩猟免許を取得。猟師の一人としても活動。

地域おこし協力隊 野口 達光 のぐち たつひこ

埼玉県出身。27歳。
平成29年5月に地域おこし協力隊着任。小股在住。旧あさひ保育園を拠点に活動。公式ワナゲのシリーズ戦や小国の記録映像上映会などさまざまな催しを企画して地域のコミュニケーションづくりに取り組む。

特集 ワカ者、ヨソ者が見た町の魅力と課題～地域おこし協力隊と緑のふるさと協力隊～

なぜ協力隊に？ なぜ小国町に？

根本 僕は東京でテレビカメラマンをしていましたが、両親や祖父母も東京出身で、若いうちに何も知らない場所に行きたいという思いがあり、地域おこし協力隊になりました。東京での説明会に行った時、熱心に説明をしてくれた小国町なら何も知らない自分が行ってもやっていけると思い決めました。

野口 食品メーカーで営業をしていましたが、東京が全てではないと思ったのと、協力隊をしていた友人のアドバイスもあり、28年度に1年間緑のふるさと協力隊として小国町で活動し、引き続き小国に残りたいと思い、地域おこし協力隊を希望し、現在にいます。

宮崎 子どもの頃から母の実家に遊びに行っているうちに田舎が好きになり、畑で自分が作ったもので生活できるのが素敵だなと思いました。大

学時代を山形で過ごし、その後、東京で働いたのですが、コンビニ中心の食事、近所の顔も見えない暮らし、誰が作ったかわからない野菜を食べる生活が嫌になり、山形に戻ろうと思いました。協力隊を募集している市町村を探し、小国は田舎だけど、町がきれいな印象を持ち、面接時出身大学の教授が関係しているという話を聞き、小国町に決めました。

山中 もともと田舎で暮らしていたのですが親の転勤で都市に引っ越した時に、自然で遊べない物足りなさを感じ、田舎暮らしをしたいと思い緑のふるさと協力隊になりました



▲舟渡獅子踊りに参加する山中隊員

た。学生時代に野生動物について学び、実習などを通して野生動物の保護や狩猟の魅力を感じて、猟師に憧れていました。猟師のかたにもっと山の知識などを学びたいと思い、小国町を選びました。

現在の活動内容は

野口 昨年度は北部地区を拠点に農作業中心に農山村の暮らしを体験しながら旧あさひ保育園で高齢者の地域サロンを開催していました。今年度も引き続き北部地区を拠点に地域サロンの開催や高齢者の居場所づくり、困りごと調査などを行ったほか、北部地区での空白地有償運送実証運行の運営にも関わりました。

根本 普段の活動は、地域サロン、お楽しみ会の実施、動画の撮影と配布、情報発信を通じた元東部地区のかたとのやり取り、東部地区全戸を訪問しての家族写真を撮り、冊子を制作、基督教独立学園の

地	お	協
域	こ	力
	し	隊

地域おこし協力隊は、総務省が行う「地域力の創造・地方の再生」に向けた取り組みのひとつ。都会から地方に若者を呼び込み、定住・定着を支援しながら地域の活性化に貢献してもらうという制度。本町では、平成24年度からこれまで4人の若者が隊員として活動。

緑	る	協
の	さ	力
ふ	と	隊

緑のふるさと協力隊は、農山村に興味を持つ若者が地域再生に取り

り組む地方自治体に1年間住民として暮らしながら、地域密着型の活動に携わるNPO法人地球緑化センター（東京都）が主宰するプログラム。本町では、平成22年からこれまで11人の若者が隊員として活動。

ワカ者、ヨソ者が見た町の魅力と課題～地域おこし協力隊と緑のふるさと協力隊～ 特集



▲空白地有償運送の運営に関わる野口隊員

生徒の活動の手助けなどを行っています。最近では高齢者宅の除雪を基督教独立学園の生徒と一緒にしました。

山中 春は狩猟のほかに農家さんの手伝い、夏はさまざまな所の草刈りをやっています。秋は、収穫期なので農家さんの手伝いが中心です。緑のふるさと協力隊の活動は農作業が中心にあつて、その他に地域の人との交流や舟渡獅子踊り、古田歌舞伎などといった活動のほか、僕の場合山が好きなので、暇さえあれば山に行っていましたね。

宮崎 私は小国いきいき街づくり公社（以下「公社」という。）でおぐにもんホームページの制作・運営や商品開発など、デザインの仕事をしています。また、旬彩工房さんとグリッシーニ開発やレシピノート制作もしました。そして実は私、小国きんたけ工房さんの名付け親なんです。着任後、会議に参加して意見を求められ、菌茸という言葉の響きが面白いと思い、漢字だと硬いのでひらがなに「小国きんたけ工房」と発言したらちやっかり採用されました。その後、小国きんたけ工房さんのパンフレット制作も行いました。

小国生活は 驚きの連続？

野口 昨年度は、これくらいの雪なら大丈夫だと思っていたのですが、今年は凄すぎるなと感じました。つい先日、自宅の水道管を凍らせてしまい、大変でした。

根本 着任して新股に向う時、「俺ここに住むの?」と思ってしまう。周りには数えるほどしか家がなく、田んぼだらけで、想像していた田舎とは違いました。初めは、お年寄りのかたが何を話しているのかもわかりませんでした。周りに年の近いかたもあまりいませんでしたので、一緒に思いを共感できる協力隊仲間がいたことは僕にとって助かりました。

山中 小国の人は温かくて、どこに行っても歓迎されて嬉しいんです。毎日が楽しくて、やりたかった狩猟もできて、山の魅力を新たに発見することができました。また、小国の人は朝早くから草刈りや田圃の見回り、除雪など、とてもマメだと思いました。そして、何でも自分で解決しようとしてくれます。1人で解決する技術・能力があるからこそ、1人で生きていける「強さ」を持っているのかなと思いますね。

宮崎 道路の縁石の縁ギリギリを除雪していく技術がすごいですね。県内でも1、2を争うレベルだと思います。そして、お年寄りの山を歩くスピードが速い。平地では私が歩幅を合せるのに、山に一步入ったら私は付いて行けませんでした。それも80歳を越えたおばあちゃんですよ。藪の中も私は漕いで進むのに、スイスイって。山に入ると元気になるって話していたので、その通りだと思った瞬間でした。

小国の魅力、課題、 そして提案

野口 自然が豊かなことが小国の魅力ではないでしょうか。逆に課題として、小国はサラリーマン生活をしている人が多く、どちらかというと都会的で地域と関わることがあまりないように感じています。進学、就職等で地域を離れた人が戻って来られる環境づくりに取り組むなど、地域を維持し住みやすくしていくことを地域の人と一緒に考えない

特集 ワカ者、ヨソ者が見た町の魅力と課題～地域おこし協力隊と緑のふるさと協力隊～



▲上叶水未来企画委員会主催の「かかしアート村 上叶」に参加する根本隊員

といけないと私は思っています。また、楽しいイベントがあるのに日程が重なることが多く残念です。そして、地域の人が周りの地域のことを知らないことに驚きました。地域の人が地域を知ることが一番大事なのかもかもしれませんね。

根本 僕はいつも横川ダムの大イチョウを眺めて癒されています。そして星空がこんなにきれいに見えるところは初めてでした。課題は、さまざまな地域活動をやる人が限られていることや、集落間の見えない壁があることです。人口が減少する中で、東部地区全体でもっとまとまってさまざまな活動をしたらいいの

ではないかと思っています。また、楽しいイベントがあるのに日程が重なることが多く残念です。そして、地域の人が周りの地域のことを知らないことに驚きました。地域の人が地域を知ることが一番大事なのかもかもしれませんね。

宮崎 小国に来て感じたのは、出る杭は打たれるという風土があるということでした。負けじと踏ん張る2年間でした。今後、町の中に協力隊が住むシェアハウスを作ってみてはどうでしょうか。除雪が大変という声があるので、数人で住めば協力してできますし、その家を拠点にした活動ができます。地域おこし協力隊は、3年後の定住を目標に、自分の技術や思いをどう発揮するかが鍵になります。そのためにも、町外を含めたさまざまな人が集える拠点になればいいです。カフェなどを開いてビジネスとして成り立てば、新しい価値が生まれると思います。協力隊が地域に向かっていく流れに加え、町民自身



▲グリッシーニの制作にも関わった宮崎隊員

が協力隊や移住者に対してできること、教えてやれることはないかという新しい動き、流れが生まれるのではないかと思います。

山中 小国に来て感じたのは、雪のある生活がものすごく大変だということ。人を呼ぶ工夫は色々ありますが、移住後のサポートが乏しいと思います。特に冬は雪国経験のない人にとっては知らないことばかりです。小国の人が当たり前のことを「雪国生活マニュアル」などとしてあると大変助かりますね。また、田舎暮らしを望む都会の人にとって自然が近くにあるのは1番の魅力だと思っています。一方で、

広大な自然をうまく活用できていない。つまり、自然と上手に遊ぶ人が少ないことはすごく残念です。小国で経験したことを生かし、これからは、狩猟の魅力を周りの人たちに伝えていきたいと思っています。

地方に向きあう 新たな若者たち

人口減少や高齢化が進む地方における地域力の維持・強化を図るための担い手となる人材不足という課題と、生活の質や豊かさへの志向の高まりを背景に豊かな自然環境や歴史、文化等に恵まれた地域で生活することへの都市部住民のニーズをマッチさせた協力隊。今、全国各地、緑のふるさと協力隊は延べ756人(うち今年度18人)の隊員が活動しています。ワカ者だから動けること。ヨソ者だから見えること。それを力にして活動する隊員たち。こうした力を地域づくりの新しい視点として生かしていきたいものです。

限りある資源を大切に 節水にご協力を

蛇口から 水が出るまで

上水道は、地下水や河川水を取水し滅菌して水道水をつくる水源地、水道水を貯め送り出す配水池、そして各家庭までの配水管（水道管）で構成されます。

本町の上水道は、昭和48年から3年をかけて整備したもので、昭和50年11月から給水を開始しました。その範囲は、おおむね、旧沖庭小学校周辺から町原にいたる約1900戸が給水対象地域となっています。

水源地は荒川の長沢橋上流左岸部で、地下の浸透水である伏流水が取水井戸に入ります。この取水井戸に入った水を滅菌し、飲料水として取送水ポンプを使って越中里地内の高台に送られ、その後自然流下方式で大宮の配水池に送ります。大宮配水池は町中心部より高いところに建設していますので、ここから自然流下方式で各家庭に給水をしています。

このように自然水を水源としているため、夏季の干ばつや冬季の降雪等で地中に水分が浸透しない条件下では伏流水も減少してしまいます。過



昭和48年8月の記録的干ばつで給水車を購入

去には夏場において高温少雨によって渇水となったことは何度かありましたが、冬季間において渇水によって給水制

今年の冬は平年よりも低い気温が続いたことなどが影響し、上水道の長沢水源地の水位が低下したため、1月29日から日中及び夜間における給水制限を実施しながら水不足解消に向けて対応しています。今月は、本町の上水道の仕組みや今回の渇水状況についてお知らせします。

限を実施したのは今年が初めてのことです。

今回の渇水要因は冬季間としては本町では珍しく氷点下の異常低温が継続したこと、これに加えて1月下旬の強烈な寒波により上水道の給水家庭等で水道管の凍結による破裂から漏水が多発したことで、さらに凍結防止のために夜間の水道水の出しっぱなしなどが重なり、長沢水源地の水位が一時51センチ、大宮配水池の水位が26センチになるなど水道水を安定的に供給できない状態にいたしました。安定供給できる水位としては長沢で100～150センチ

※ 1 m³ = 1,000 L （ドラム缶 5 本分）

を目安にしています。

また、現在1日あたりの上水道使用量が2000³m以上となっているのに対し、昨年同時期では1900³m以下であったことから、今冬の上水道使用量が増加し、長沢水源地における水が枯渇する事態につながったとも言えます。

1月29日から 一部給水制限

このため町では、長沢水源地及び大宮配水池の水位を確保するため、1月29日午後2時から水道管に流れる水量を通常の7割程度に減らして減圧する給水制限を実施したものの水位が回復しなかったことから、2月2日からは午後10時から午前6時まで、さらに、2月5日からは午後1時から5時までの間の給水制限を加えながら、水量の確保を図ってきました。

この間、上水道給水区域に

おいて水が出にくい家庭も発生したため、町の給水車のほか、長井市及び飯豊町から給水タンクを借用しながら町内各地域で給水対応をするともに、広報車や防災ラジオを使った節水の協力を呼び掛けてきました。

限りある資源を 大切に使う

蛇口をひねれば出てくる水が出なくなった時、これまであまり経験したことのない焦りを感じたかたも多かったのではないだろうか。自然水という限りある資源を有効に使っていくため、もう一度家庭での普段の生活を振り返ってみてください。

シャワーの水を出しっぱなしにいませんか。洗顔や歯磨きの際、蛇口の水をこまめに閉めていますか。台所で水を必要以上に出していませんか。日常生活の水を使用する

る場面において、いつもより少し蛇口を絞ることやこまめに蛇口を閉めることで節水につながります。

水資源が豊かと言われている本町ではありますが、本町の上水道の仕組みから、今回のような水不足になってしまうことがあります。

普段何気なく使用する水も限りある資源のひとつです。そうした資源をすべて使い切るのではなく、次の日のために、次の世代につないでいくために今後とも節水にご協力をお願いします。

新水源地と 配水池建設

町では上水道の安定的な供給体制を確保するため、現在の長沢水源地に加え、新たな水源地を平成28年度に大字針



平成28年度に完成した針生水源地

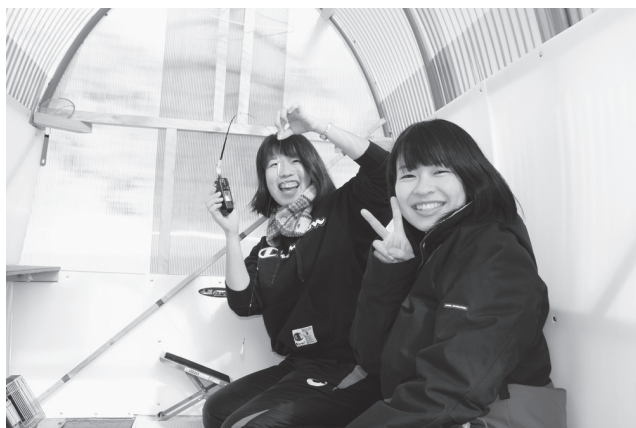
生地内に整備しました。現在は、この水源地を基に針生地内に新たな配水池を建設中です。

来年度にはこれらの施設を稼働させ、現在の施設とあわせて安定的に水道水を供給する予定となっています。いずれも良質な伏流水を利用していただくため、自然条件の影響を受けることがありますので、日ごろから節水にご協力ください。



寒い冬の熱い遊び ～ワカサギ釣り体験～

近年小国の冬のブームにもなりつつあるワカサギ釣りを多くの人に楽しんでもらおうと横川ダム水源地域ビジョン推進会（河内昭佐会長）が主催したワカサギ釣り体験が、2月10日、白い森おぐに湖（横川ダム湖）で行われ町内外から家族連れなど約50人が参加しました。前日夜から小国わかさぎ会（佐藤道信代表）が準備をした会場で、参加者がワカサギ釣りにチャレンジ。時間を忘れて小国の寒い冬の熱い遊びを楽しんでいました。



迫力の鷹狩を間近で ～鷹匠さんがやってくる～



白い森子ども体験教室「鷹匠さんがやってくる！」が、2月17日、おぐに開発総合センターで行われ、町内の親子など約50人が参加しました。この日は、日本で唯一クマタカとイヌワシを使った実猟ができる鷹匠の松原英俊さんを講師に招き、松原さんのこれまでの鷹匠人生の話やイヌワシを使った鷹狩の実演などが行われました。

参加者は、松原さんのユーモアあふれるトークに笑顔を見せ、鷹狩の実演では迫力あるイヌワシを使った猟に見入っていました。

自然豊かな今市の人と暮らしの回顧録 ～今市公民館が記念誌を発行～

今市公民館（高野洋一館長代理）が、昨年12月15日に公民館だより発行50号を記念して「自然豊かな今市の人と暮らしの回顧録」と題した記念誌を発行しました。

記念誌には、公民館設立からこれまでの変遷や今市出身者や現在住んでいるかたの寄稿文など今市に関わる様々な資料等が掲載されています。記念誌の編集委員長を務めた伊藤義廣さんは、「現在の今市地区はいわゆる限界集落と言ってもいいと思いますが、これを契機に地域住民が一致団結してさらに住みよい地域をつくっていければと思います」と話してくださいました。



町内企業が外国人実習生を受け入れ ～日本重化学工業(株)小国事業所にベトナム人実習生が10人～

日本重化学工業(株)小国事業所(角掛繁所長)で技能実習を行う10人のベトナム人実習生が、2月9日に町長を表敬訪問しました。これは、事業所における人手不足が大きな課題となっていることから、発展途上国等の経済発展を担う人づくりに協力することを目的に行われている外国人技能実習制度を活用して、技能技術の育成とともに人材の確保を図ったものです。



「初猟」

緑のふるさと協力隊 やまなか なち 山中 那智



初めての雪国生活にあたふたしている緑のふるさと協力隊の山中那智です。和歌山県出身で雪の降らないところから来た僕にとって、今年の冬は衝撃でした。

小国に来た頃から猟師に憧れ、僕もなりたと思っていました。たくさんの方々の協力を得て銃を所持し、小国町第3班猟友会に所属する念願の猟師になりました。「カモ撃ちにいくぞ!」と師匠に誘われ初猟に行ってきました。猟師として銃を持って猟にでると、獲物との駆け引き、自然界の狩る狩られるの関係を感じる事ができました。猟師としては、まだまだ未熟ですが、小国町には素晴らしい猟師さんがたくさんいるので技や知識を学びたいです。

「寒波」

地域おこし協力隊 のぐち たつひこ 野口 達光

寒いです。年が明けてからの寒波にやられています。ボイラーの故障に始まり、蛇口の凍結、水道管の破裂、最後には自身のインフルエンザと、小国町2年目にして本当の冬を身にしみて体感しています。

「こんな降るのは4年前みたいだ」「生まれてからこんなに降ったことがない」「38豪雪より多いぞ」と皆さんそれぞれに今年の降雪量の感じ方は様々なようです。昨年は4月に帰省をしていたため雪解けの様子を追えなかったのですが、今年はその様子を見ることができます。「土が恋しい」。その想いでじっと待ちたいと思います。





▲工事用道路を活用して観光資源に変わった森林セラピーロード（小玉川）（飯豊山系砂防事務所提供）



▲昭和44年4月に荒川砂防工事事務所が設置された

町では、羽越水害を機に荒川水系流域の抜本的な治山、治水対策のために大規模な砂防事業が必要であると国に陳情し、その必要性が認められ、昭和44年4月に北陸地方建設局荒川砂防工事事務所が設置され、一級河川荒川流域の直轄砂防事業が始まりました。

その後、昭和54年4月から荒川に加え、阿賀野川、胎内川、加治川の3水系の直轄砂防事業が始まり、飯豊山系砂防工事事務所に名称が変わりました。現在、飯豊山系砂防事務所（平成15年4月名称変更）では、荒川、胎内川、加治川の3水系、山形・新潟両県4市町村にまたがる流域面積1541km²という広大な面積で砂防事業を展開しています。

これまで本町内では、砂防堰堤整備の他に、五味沢地区の荒川流路工や小玉川地区の玉川スーパードラマ砂防堰堤、砂防堰堤のスリット化など自然環境などにも配慮した特徴ある砂防堰堤が整備され、私たちの目には届かない山の中でも日常生活を支えています。そして、荒川流路工整備によってきれいに改良された河川を利用した地元住民による魚のつかみどり大会開催や、飯豊山麓ではブナ林の伐採を避けた工事用道路が森林セラピーロードとなるなど、さまざまな場面で活用されています。

飯豊山系砂防事務所の山本悟所長は、「同じ砂防堰堤を整備するにしても、皆さんに喜ばれるものを造っていきたくて心がけています。砂防堰堤ができることで完全に安全になるということではありません。想定外の事態は起こり得るものです。砂防堰堤は逃げる時間を作るものであると考えていただき、危険を感じたらすぐに避難することが必要です。」と話してくださいました。



▲荒川流路工の全景（飯豊山系砂防事務所提供）



▲玉川スーパー暗渠砂防堰堤によって対岸に自由に移動できるようになった（小玉川）（飯豊山系砂防事務所提供）



▲荒川流路工での魚つかみどり大会の様子（飯豊山系砂防事務所提供）

白い森ブランドストーリー決定！

A. 彩りゆたかな白い森

飯豊連峰と朝日連峰にはさまれ
ひろいひろいブナの森に囲まれた町
山形県小国町。

冬になると、そこは
しんと降りつもる雪が
あたり一面を埋め尽くす
寒さきびしい白い森。

夏になると、そこは
白い木肌のブナが
涼しげに佇む白い森。

この2つの白を引き立てるのが
濃く、淡く、ピンク色に咲き乱れる石楠花
エメラルドグリーンにきらめく川
赤やオレングジに染め尽くされた紅葉のパノラマ
黄金色にかがやく大銀杏

ほかにも数えきれないくらいたくさんの
色。色。色。

どこまでも澄んだ空気のなか
白いキャンバスと天然の絵の具がつくりだす
絵画のような絶景は
いまだどんな表情をしているのでしょうか。



▲チェーンソー研修会 (6/13・14)

森から拓く
次代の生業づくり事業
【林業機械操作技術研修】
町民を対象に、刈払機やチ
ェーンソーに関する安全衛生
教育研修を行いました。機械
操作技術の向上と安全な使用
方法について学ぶことで町内
の森林整備の促進につながる



▲高収入品目植栽 (9/25・11/28)

高収入品目植樹植栽事業
【キハダ等広葉樹植栽事業】
スギよりも早いサイクルで
効率よく収入が得られる広葉
樹を検証するため、学生や町
民と協同して植栽事業を展開
しました。

ものと期待されています。

山形県緑環境交付金事業は、地域の実情に精通する市町村が、そ
れぞれの地域課題に沿って、創意工夫を凝らした独自の森づくり活
動等を図れる仕組みとして、交付金による支援を行うものです。
町では、この制度を活用して、森林や農林業への理解、自然環境
保全の意識の醸成を図ることなどを目的としたさまざまな事業を展
開しています。ここでは、今年度の取り組みを紹介します。

平成29年度 山形県みどり環境交付金事業
「白い森おぐに」 森林理解と
体験活動の取り組みについて

投票総数は

965票

小国の地域資源を見つめなおし、小国の魅力についてあらためて考えるきっかけにしたいと取り組んできた白い森ブランドストーリーづくり。

今回の町民総選挙では、役場、病院、アスモに投票箱を設置したほか、クアーズテック株式会社正門等でも投票の呼びかけを行い、多くの町民の皆さんに投票していただき

ました。また、インターネットによる投票も全体の3分の1に及び、小国を離れているかたにもたくさん投票いただいたものと感謝申しあげます。ぜひ、このブランドストーリーに愛着を持っていただき、白い森の未来を一緒につくりていきましょう。



▲クアーズテック正門前で投票の呼びかけを行った

	総数	A案	B案	C案	無効
電子投票	333	142	86	101	4
役場	64	13	36	12	3
病院	68	27	18	23	0
アスモ	152	55	32	57	8
その他	348	140	96	92	20
合計	965	377	268	285	35

有害鳥獣被害対策事業

【野生鳥獣被害対策講習会】

サル、クマ等の被害に加え、イノシシ、シカの生息による新たな被害を防止するため、講習会を開催しました。

白い森づくり体験事業

【植林・森林体験学習】

町内小学生の親子を対象に、植林作業の実演見学のほか、実際に植林体験を行って植林作業の必要性を学びました。飛ぶ種のクラフトにより、樹木が次代へ命をつなぐための工夫など、木や森について理解を高めることができました。

森林資源活用事業

【たい肥化事業】

森林内の落ち葉や土を活用して、家庭から出る生ごみを



▲たい肥化事業



▲森の学校「夏鳥を探そう」(5/20)

良質なたい肥にしています。化学肥料を使わずたい肥だけで育てた野菜は、町内の保育園で給食として提供されています。

森林セラピー推進事業

【環境整備】

森林セラピー基地「ブナの森温身平」の機能と景観を保ち、訪れる方々が快適に森林セラピーを楽しめるよう、セラピーロードの環境整備を行いました。

生涯学習講座開設事業

【白い森子ども体験教室】

小学生を対象に、町内に生息する生物の観察や森林散策を通じて、森林環境やさまざまな動植物の特徴と役割について学びました。

平成30年第1・2回 小国町議会臨時会

平成30年第1回及び第2回小国町議会臨時会が、1月30日と2月15日にそれぞれ開催されました。平成29年度一般会計補正予算などが審議され、原案のとおり可決されました。

【第1回臨時議会】 専決処分の承認

11月中旬からのまとまった降雪により、町道除排雪稼働日数が増加したことに加え、雪崩の未然防止対策を講じてきましたが、引き続き降雪が見込まれ、町民生活の安全確保のため予算の確保に緊急を要したことから、1月16日に行った除排雪経費5000万円を追加する補正予算の専決処分が承認されました。

一般会計に

9236万3千円を追加

一般会計では、専決処分以降も断続的に続いた降雪に伴い、不足が見込まれる町道除排雪経費を追加しました。これにより、補正後の同会計予

算総額は64億3993万2千円となりました。

【第2回臨時議会】 一般会計に

1億1033万5千円を追加

一般会計では、第1回臨時議会以降も続いた大雪に対する除排雪経費等及び上水道の給水制限対応に係る経費を追加しました。これにより、補正後の同会計予算総額は65億5026万7千円となりました。

■民生費では、高齢者の住宅除雪等を支援する高齢者等暮らし応援事業についての1世帯当たりの上限額を3万6千円から7万2千円に拡充しました。

■土木費では、2月13日までの町道除排雪委託経費が2億5千万円を超えており、今後の降雪状況の予測から、経費に不足が生じる見込みのため、町道の除排雪に要する経費を追加しました。また、安定的な克雪活動を確保するため除雪協力会への交付金を追加しました。

～灯油購入費の助成について～

昨年12月の隣組回覧でご案内しておりますが、町では灯油購入費の助成を行っています。申請期限は平成30年3月31日までとなっていますので、お済みでないかたは早めに申請を行ってください。対象は平成29年度の町民税非課税世帯であり、かつ高齢者、障害者、母子・父子、在宅系施設利用者世帯になります。詳しくは健康福祉課までお問い合わせください。

■助 成 額

上限5,000円（1世帯あたり）

■申請場所

小国町健康管理センター

■持参するもの

- ①申請者本人の印鑑
- ②灯油を購入したことを確認できる書類（領収書等）
- ③助成金の指定振込口座を確認できる通帳

■問合せ先 健康福祉課（☎61-1000）へ

平成30年度 小国町病後児保育室の 利用登録手続きについて

町では、病気の回復期にあり、集団または家庭での保育が困難な満1歳から就学前のお子さんを対象に病後児保育室の受入をしています。利用する場合には事前登録が必要になりますので、健康福祉課に「利用登録届出書」を提出してください。また、「利用登録届出書」は、年度毎の更新になりますので、すでに登録されているかたは更新の手続きをお願いします。

■受付期間

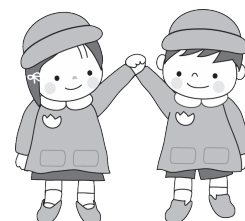
随時受付をしています

■提 出 先

小国町健康管理センター

■問 合 先

健康福祉課（☎61-1000）へ





本間正美さん（小玉川）が制作した「マタギの伝統（熊狩りと山の神）」が、第66回山形県自作視聴覚教材コンクール（社会教育部門）で最優秀賞を受賞しました。

本間さんの作品は、昔の熊狩りと現代の熊狩りの方法を比較しながら、使用する道具などは変わっても、山の神への信仰は昔も今も変わらないことを表現したものになっています。

本間正美さん（小玉川）が自作視聴覚教材コンクール最優秀賞を受賞

住所変更手続きにはマイナンバーカード・通知カードが必要です

■転出届（町外に引っ越すかた）

- マイナンバーカードをお持ちのかた
転入届の特例（転出証明書がいない転入）手続きが受けられます。転出届と一緒にマイナンバーカードを窓口へ提出してください。
- マイナンバーカードをお持ちでないかた
小国町での手続きはありませんが、通知カード表面の住所変更手続きが必要になります。引っ越し先の市町村に転入届を提出する際、引っ越すかた全員分の通知カードを持参してください。

■転居届（町内で引っ越すかた）

- マイナンバーカードをお持ちのかた
カード表面とICチップ内の住所変更手続きが必要になります。引っ越すかた全員分のマイナンバーカードを持参してください。
- マイナンバーカードをお持ちでないかた
通知カード表面の住所変更手続きが必要になります。引っ越すかた全員分の通知カードを持参してください。

■転入届（小国町に引っ越してくるかた）

- 転入届の特例を受けているかた
手続きの際必ずマイナンバーカードをお持ちください。カードをお持ちいただけない場合、転入手続きが行えません。転出証明書をお持ちのかたもマイナンバーカード表面とICチップ内の住所変更が必要になりますので、引っ越すかた全員分のカードを持参してください。ICチップ内の住所変更手続きでは、カード交付時に設定した暗証番号が必要になります。
- マイナンバーカードをお持ちでないかた
通知カード表面の住所変更手続きが必要になります。引っ越すかた全員分の通知カードを持参してください。

※3・4月は窓口が混み合うため、時間に余裕を持ってお越しください。大変ご迷惑をおかけいたしますが、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

■問合せ先 町民税務課住民窓口担当（☎62-2260）へ

入札結果情報（平成30年1月21日～平成30年2月20日実施）

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期（完了）	予定価格	落札業者	落札価格
H30.1.24	平成29年度小国町公共下水道事業公共下水道管路台帳作成業務委託	兵庫館ほか	H30.3.27	1,180,000	(有)小国測量設計事務所	1,100,000
H30.1.24	平成29年度小国町水道事業水道管路台帳作成業務委託	小国町水道給配水供給区域内	H30.3.27	1,497,000	(有)小国測量設計事務所	1,400,000
H30.2.5	平成29年度農地耕作条件改善事業木落排水路整備工事	町原	H30.3.15	3,270,000	遠藤建設(株)	3,200,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

ご案内

第2回フラワー長井線 利用拡大シンポジウム

地域の重要な公共交通機関であるフラワー長井線の理解促進やマイレール意識醸成のため、昨年度に引き続き、フラワー長井線利用拡大シンポジウムを開催しますので、ぜひお越しください。

■日時 3月17日(土)15時～

■場所 道の駅川のみなと長井(展示スペース)

■その他 参加費無料、申込不要、来場者特典あり

■問合先 フラワー長井線利用拡大協議会事務局(長井市地域づくり推進課)(☎0238・87・0817)へ

危険物取扱者・消防設備士の免状をお持ちの皆様へ

危険物取扱者・消防設備士の義務として、消防法令では、免状交付の日から10年以内ごとに写真の書換えをしなければならぬ規定となっておりま

す。免状の写真下欄記載の期限を確認のうえ、速やかに手続きをされるようお知らせします。

■問合先 一般財団法人消防試験研究センター山形県支部(☎023・631・0761)へ

チェーンソー安全利用 研修会の開催

チェーンソーによる安全な伐採造材作業と、目立て等の整備方法を学ぶ研修会を開催します。

■日時 3月16日(金) 13時～16時30分

■場所 飯豊少年自然の家2階研修室(飯豊町添川)

■内容 安全な伐採造材作業について(講話)、チェーンソーの整備について(実習)

■定員 25人

■参加費 無料

■その他 作業着・軍手等でお越しください。また、チェーンソーや目立て道具をお持ちのかたはご用意いたいただき、持参しないかたはその旨お知らせください。

なお、この研修は労働安全衛生法第59条第3項の特別教育には該当しません。

■申込・問合先 置賜総合支庁森林整備課普及担当(☎0238・26・6065)へ

募集

町営住宅入居者募集

①町営住宅小坂町団地

3DK 1戸(4階)

■家賃 所得と家族構成による

■その他 所得制限あり

②町営住宅あけぼの団地

2DK 1戸(1階)

3DK 1戸(3階)

■家賃 所得と家族構成による

■その他 所得制限あり

③あけぼの高齢者団地

1LDK 1戸(1階)

■家賃 所得と家族構成による

■対象

▽世帯所得が21万4千円以下で住宅に困っているかた
▽60歳以上のかたで自立した生活をおくることができ、同居するかたが配偶者または60

歳以上の親族であること

①③共通

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 3月12日(月)

◎入居時期 3月下旬以降

◎問合先 地域整備課建設管理室(☎62・2431)へ

山形県立農林大学校 「研修生」募集

これから農業を始めようとするかた、また新分野の導入・農産加工に取り組むかたを対象にした研修生を募集します。

■コース 新規就農支援研修、農業ビジネス支援研修

■研修期間 1年間(平成30年4月～平成31年3月)

■募集人員 新規就農50人、新分野導入・農産加工20人

■研修先 農業関係試験研究機関、先進農業経営者、農林大学校等

■受講料 無料(ただし、テキスト・傷害保険・宿泊等の必要経費は自己負担)

■問合先 山形県農林大学校研修部(☎0233・22・8794)へ

3月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 3月16日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成29年11月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 3月16日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成29年3月生まれ

■1歳6カ月児健診

- ・期 日 3月9日(金)
- ・受付時間 12:30~13:00
- ・対 象 平成28年7月、8月、9月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

■3月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)	不要

■対象者 なかよし広場 就学前のお子さんとお家のかた

■その他 平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でも同様の場所を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合先 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

3月4日(日)	長井 斎藤歯科医院	0238-88-1827
3月11日(日)	米沢 鈴木歯科医院	0238-23-0370
3月18日(日)	高畠 八木歯科医院	0238-52-0117
3月21日(水)	米沢 三條歯科医院	0238-23-2206
3月25日(日)	高畠 つちや歯科医院	0238-52-0464

求 人 情 報

右の表は2月16日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2018.3

3月期の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●3月26日(月) 水道料

●4月2日(月) 国民健康保険税・後期高齢者医療保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
長井郵便局	郵便配達業務	1人	8:00~16:45
(有)横川自動車整備工場	自動車整備工	1人	8:30~17:30
(株)建設マネジメント北陸	(請)ダム及び関連施設の操作、監視、データ整理等の管理支援	1人	8:30~17:30他
(株)高橋工務店	一般土木作業員	2人	8:00~17:00
	建築技術者	2人	
	土木技術者	2人	
医療法人社団 緑愛会 満天の家	介護職	1人	9:00~18:00他
	看護師	1人	8:30~17:30
(株)山芳工務店	電気設備工(見習い)	3人	9:00~18:00
日本重化学工業(株) 小国事業所	機械整備・修理スタッフ	1人	8:15~17:15
遠藤建設(株)	重機オペレーター	1人	8:00~17:00
安部工業(株)	型枠大工	1人	8:00~17:00
	運転手	2人	
	現場監督員	2人	
(有)小国技研	ボーリング洗浄工及び作業管理補助	1人	8:00~17:00
ひさご電材(株)小国工場	電線のアッセンブリー及び検査	5人	8:30~17:30
カインドネス(有) おぐに調剤薬局	医療事務	1人	8:30~17:30他
小国町森林組合	伐採・集材・造林・保育作業員	2人	7:30~17:00
	運転業務(トラック運転)	1人	
日清医療食品(株)仙台支店	(請)調理師	1人	10:30~19:30他

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。

※町ホームページに求人情報を掲載しています。

奨学金の貸与を受けている若者の 本町回帰を支援します（市町村連携枠）

町では、若者の本町回帰・定住を促進するため、山形県と連携して、奨学金の貸与を受けている大学生等に対し、奨学金の返還支援事業を実施しています。

■対象者 次の項目を全て満たすかた①町内に居住し、県内の高等学校等を今年度卒業見込みのかた、または既に卒業したかた②国内の大学等に平成30年度に進学予定のかた、または在学中のかた③日本学生支援機構の第一種または第二種奨学金の貸与を受けているかた、または受ける予定であるかた

■助成内容 大学等を卒業後、6カ月以内に町内に居住して県内企業に就業し、かつ3年以上居住、就業を続けた場合に、最大で124万8千円の助成が受けられます。

※なお、この他にも諸条件がありますので、応募の際にご確認ください。

■応募期間 平成30年4月27日(金)まで

■問合・応募先 総務企画課政策企画担当（☎62-2264）へ

こころの健康相談 統一ダイヤルのお知らせ

3月は「自殺対策強化月間」です。毎年この期間中の一週間を「こころの健康相談統一ダイヤル」として、悩みを抱えた人の相談をお受けしています。

■相談期間 3月1日(木)～7日(水) 9:00～17:00

※期間中は土日も相談を受け付けます。

■電話 0570-064-556

※PHS電話、IP電話、プリペイド式携帯電話、列車公衆電話からは接続できません。

■その他 上記期間以外は「023-631-7060」で月から金曜日（祝祭日・年末年始を除く）の9時から12時、13時から17時の間、相談を受け付けています。インターネットからの相談は「山形 心の健康 インターネット相談」で検索。

総合センター図書室から

～新着図書～

◇注文をまちがえる料理店
 ◇生きていくあなたへ
 ◇東北の名城を歩く
 ◇超カンタン！俳句塾
 ◇人工知能の核心

休館日 毎週月曜日・祝日

小国士朗
 日野原重明
 飯村均
 夏井いつき
 羽生善治

相 談

▽年金相談

■日 時 3月14日(水)
 10:30～14:00

■場 所 役場

■対応者 米沢年金事務所職員

■その他 事前に申込みが必要です。

■申込・問合先 町民税務課住民窓口担当へ

▽人権相談

■日 時 3月21日(水)
 10:00～12:00

■場 所 アスモ街なかギャラリー

■対応者 町人権擁護委員

■問合先 町民税務課住民窓口担当へ

▽消費者相談

■日 時 3月24日(土)
 10:00～12:00

■場 所 役場

■対応者 司法書士 舟山健蔵氏

■その他 事前に申込みが必要です。

■申込・問合先 町民税務課町民生活担当へ

後期高齢者医療保険料の 保険料率が変わります

後期高齢者医療制度の保険料率は、医療費などの推計を基に、2年ごとに見直しを行っています。平成30・31年度の保険料率は、次のとおり改定されます。

■保険料率（平成28・29年度→平成30・31年度）

○所得割額 8.58% → 8.01%

（所得に応じて負担していただく分を算定する際の率）

○均等割額 41,700円 → 41,100円（加入者が公平に負担していただく分）

○賦課限度額 57万円 → 62万円（年間保険料の最高額）

※保険料率の詳細へ、7月に保険料額決定通知書とともに送付されるリーフレットに記載されます。

■問合先 町民税務課国保医療担当
 （☎62-2261）へ



- 小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
- 行政管理局・情報危機管理室 ☎62-2112
- 企画財政室 ☎62-2264
- 白い森ブランド戦略室・移住定住促進室 ☎87-0821
- 国保医療担当 ☎62-2261
- 税政管理室 ☎62-2403
- 住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 会計室 ☎62-2406
- 商工観光室 ☎62-2416
- 農林振興室 ☎62-2408
- 建設管理室 ☎62-2431
- 建設技術室 ☎62-2432
- 議会事務局 ☎62-2448



戸籍のまど

(1 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

小 玉 川 舟 山 恵 菜 (和 絵 樹 里)

小 玉 川 舟 山 希 菜 (和 絵 樹 里)

結婚おめでとうございます。

(小国小坂町 櫛 清 彦
福島県 佐 藤 裕 美)

おくやみ申し上げます。

緑 町 羽 田 秋 男	(85)
東 原 今 貞	(93)
杉 沢 佐 藤 フユエ	(93)
栄 町 石 山 は な	(91)
岩 井 沢 舟 山 美代子	(90)
小国小坂町 佐 藤 敏	(85)
町 原 八 木 優	(86)
小国小坂町 古 藤 文 男	(83)
岩 井 沢 齋 藤 文 雄	(81)
沼 沢 嶋 貫 克 幸	(52)
古 田 木 村 勇 貴	(24)
増 岡 齋 藤 誠	(74)
岩 井 沢 井 上 み ち	(100)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (平成30年1月31日現在)

人口 男・・・3,848 人 (－ 10)
女・・・3,913 人 (－ 8)
計・・・7,761 人 (－ 18)
世帯数 3,075 世帯 (－ 1)

編集後記

今月の情報局にも掲載していただきますが、ワカサギ釣りの体験取材は、さきから準備していたので、冬の間は、足踏川に足を踏み入れ、ワカサギ釣りを体験していただくことができました。冬の間は、足踏川に足を踏み入れ、ワカサギ釣りを体験していただくことができました。冬の間は、足踏川に足を踏み入れ、ワカサギ釣りを体験していただくことができました。

3月の あいイベント

第9回

MIXCUPフットサル大会



- 日 時 3月25日(日)9:00～
- 場 所 多目的屋内運動場あいべ
- 対象者 中学生以上(6人～15人内3人女性)
- 参加費 1人500円(保険料込)
- 申込締切 3月16日(金)

小学生春休みスポーツ教室

- 日 時 3月22・23・28・29日
各日9:30～
- 場 所 町民総合体育館2階
- 対象者 小学生
- 参加費 1人100円(保険料込)
- 内 容 スラックライン、けん玉、バスケ、バドミントン、ドッジボールなど
- 申込締切 3月20日(火)正午まで

- 申込・問合せ
(☎62-5808)

おくにYui
スポーツクラブ

くりえいと工房

再生品提供について

千代田クリーンセンターくりえいと工房では、粗大ごみとして搬入された自転車や家具を修理再生し、展示及び提供を行っています。

- 提供品 自転車10台、家具類5点(1回毎予定数)
- 応募方法 工房に備え付けの申込用紙により応募してください。抽選により当選者を決定します。
- 時間 午前9時から午後4時まで
- 料金 無料

	展示期間	公開抽選 ※午前10時	引取期限
第1回	4月4日(水) ～5月5日(土)	5月8日(火)	6月2日(土)
第2回	6月6日(水) ～7月7日(土)	7月10日(火)	7月28日(土)
第3回	8月1日(水) ～9月1日(土)	9月4日(火)	9月29日(土)
第4回	10月10日(水) ～12月1日(土)	12月4日(火)	12月22日(土)

■問合せ 千代田クリーンセンター (☎0238-57-4004)へ

シリーズ

地域のブランド化とは

その⑩

おぐにの食材

さくら咲く咲く小国の春は
わらびぜんまい野に山に

小国音頭の一節にもあるように、小国町は山菜の宝庫です。秋になれば、なめこ、舞茸、とび茸などのきのこも豊富に採れます。さらに、米や雑穀、米沢牛にやまがた地鶏、酒やそばなど、美味しいもの

がたくさんあります。

昨年12月には、そんな小国食材の新たな魅力を発見しようとして、「白い森まるごと塾」において小国食材を使ったフレンチレシピ講座とカジュアルフレンチを楽しむ「OGUNI・de・フレンチ」を開催しました。

西新宿のフレンチレストラン **Bistro COLO R I S** のオーナーシェフ川瀬彩さんに考案いただいたオリジナルレシピでは、地鶏をオイルで煮たり、きくらげをジュレにしたりと、山菜やきのこが思いもよらない料理に生まれ変わりました。実際に味わった皆さんは驚きながらも、おぐにの食材にはまだまだ知られていない魅力や可能性があることを感じていたようです。

また、おぐにまるごと農商エネットワーク協議会では、



レシピ講座の様子

特産品を活かした新商品として、山菜中華まん、たかきび中華まんを開発し、道の駅や美森マルシェで試験販売を行っています。首都圏における試食、アンケート調査も実施しており、今後は町内外で広く販売することを目指して、さらに改良を重ねることとしています。

おぐにの食材を選んで買うこと、積極的に食べることで、知り合いにすすめること、SNS（ソーシャルネットワークサービス）などで広く発信すること、これも白い森ブランドを推進する大切な取り組みです。小国の大自然で育った食材を、皆さんで美味しくいただきます。

【ほうれんそうと坊ちゃん南瓜と雑穀サラダ添え】

■材料（6人分）

ほうれん草1束、坊ちゃん南瓜1個、お好みの雑穀大さじ2、ベーコンスライス1枚、塩少々、胡椒少々、オリーブオイル／サラダ油適量、バター少々、粗挽き胡椒少々、粒マスタード少々、ニンニク少々

■作り方

①多めの油を足して、5ミリくらいの厚さにカットした坊ちゃん南瓜を色が変わるまで炒め、塩胡椒をします。②1/3程度にカットしたほうれん草とニンニクとベーコンを入れて炒め、しんなりしたら塩胡椒を振りバターを加えます。③雑穀は30分水に浸して電子レンジで加熱または2、3分茹でておきます。④全部軽く合わせて粒マスタードを適量加え、粗挽き胡椒を乗せ、皿に盛り付け完成です。

■Memo

粒マスタードがない場合は、マヨネーズやカレー粉、粉チーズなどに変えても色々なバリエーションが楽しめます。雑穀は、そばの実やひじき、ナッツ、ドライフルーツ、ごまなどに変えてもおいしいです。



白い森まるごと塾vol.2 OGUNI・de・フレンチ